

日立 **ビルトイン** オープンレンジ用部品

(スライドインタイプ)

MRZ-A2形

安全のため必ずお守りください

工事をされる方へ

- ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。
- このオープンレンジを正しく安全にご使用いただくために指定された工事を行ってください。
- 設置完了後、この「設置仕様書」と「ククレットガイド」を必ずお客様にお渡しいただき、オープンレンジの試運転を行い、お客様に正しい使いかたをご説明ください。

絵表示について

この「設置仕様書」および「ククレットガイド」では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

<p>据付工事は販売店または専門の工事店で行う。 (故障や事故の原因)</p> <p style="text-align: right;">!</p>	<p>アースを確実に取り付ける。 (故障や漏電による感電の防止) 設置工事要領(5ページ)を参照してください。</p> <p style="text-align: right;">⚡</p>
<p>電源は定格^{アンペア}15A以上の専用コンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。</p> <p style="text-align: right;">!</p>	<p>燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものやカーテンなどを近づけない。 (ヒーター使用時の高温で引火の恐れ)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>
<p>電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。 (コードが破損し、火災・感電の原因)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>	<p>傷んだ電源コードや差込プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない。 (感電・ショート・発火の原因)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>
<p>交流^{ボルト}100V以外では使用しない。 (火災・感電の原因)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>	<p>たたみ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱いものの上に置かない。 (ヒーター使用時の高温で引火の恐れ)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>

⚠注意

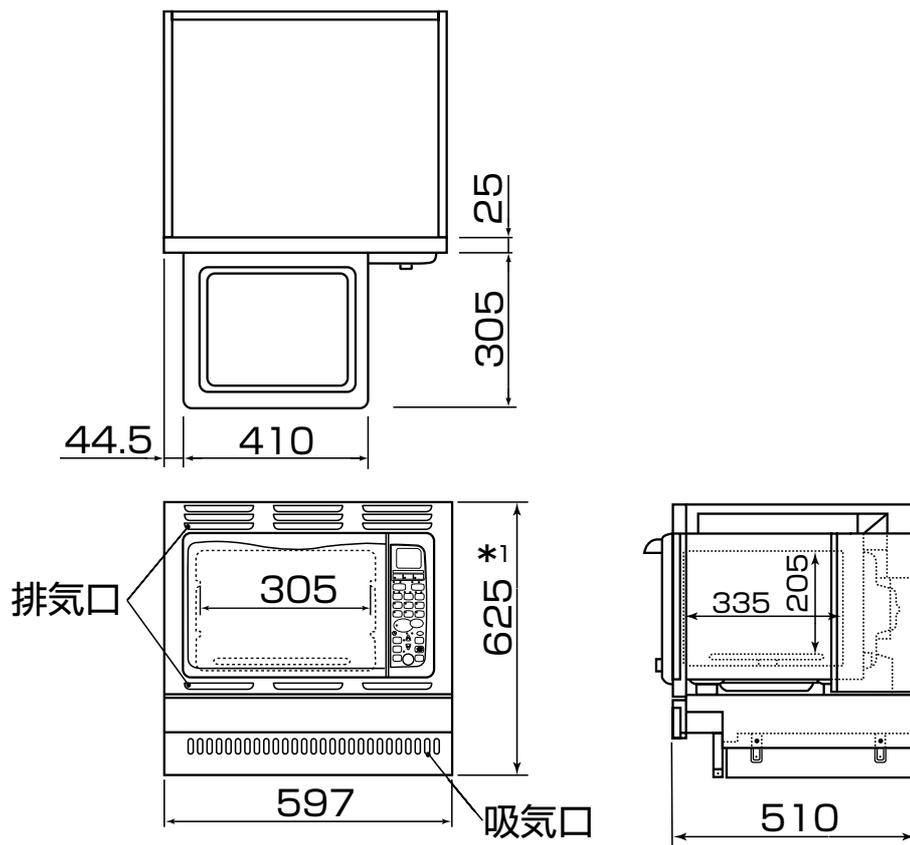
<p>吸排気口をふさがない。 (過熱して故障の原因) 外形図(4ページ)を参照してください。</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>	<p>使用前に包装材は全て取り除くこと。 (発火・火災・やけどの原因)</p> <p style="text-align: right;">!</p>
<p>水のかかるところや熱気、火気の近くで使わない。 (感電、漏電の原因)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>	<p>電源コードは、排気口や温度の高い部分に近づけない。 (火災・感電の原因)</p> <p style="text-align: right;">⊘</p>
<p>壁との間をあける。 (過熱して発火する恐れ) 設置工事要領(5ページ)を参照してください。</p> <p style="text-align: right;">!</p>	

■この「設置仕様書」をよく読み、正しく確実に設置してください。
不備があった場合、感電や火災、けがなどの原因になります。

仕 様

外 形 寸 法	幅597×奥行510×高さ625mm 高さは側面および後面の固定ネジの調節により、580mm、594mm、605mm、615mm、635mm、644mmに変更することができます。 (5、7ページ参照)
質 量 (重 量)	約36kg (別売りの電子レンジ本体を含む)
付 属 部 品	(1)キャビネット、(2)ルーバー、(3)排気ダクト、 (4)吸気ダクト、(5)冷却ダクト、(6)シャネツバン、 (7)設置仕様書、(8)付属部品取付用4×10タッピンネジ(12本)

外形図(電子レンジ組込時)



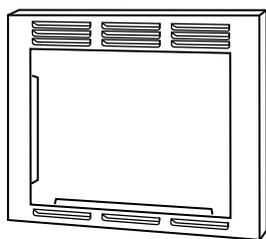
(単位：mm)

*1 高さは側面及び後面の固定ネジの調節により580、594、605、615、635、644mmに変更することができます。出荷時は625mmになっています。(7ページ参照)

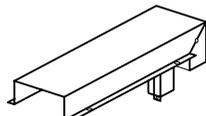
キャビネット高さ	キッチンの高さ*2
580	800
594	819
605	830
615	840
625	850
635	860
644	869

*2 据付寸法に応じて別売部材を用意しております。(6ページ参照)

付属部品



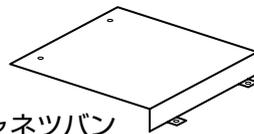
ルーバー



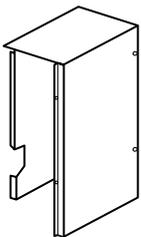
排気ダクト



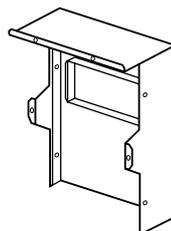
4×10
タッピンネジ12本
(付属部品取付用)



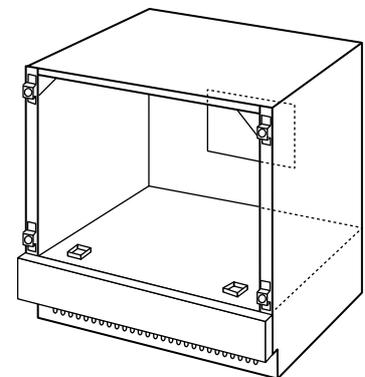
シャネツパン



吸気ダクト



冷却ダクト



キャビネット

設置工事要領

電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。

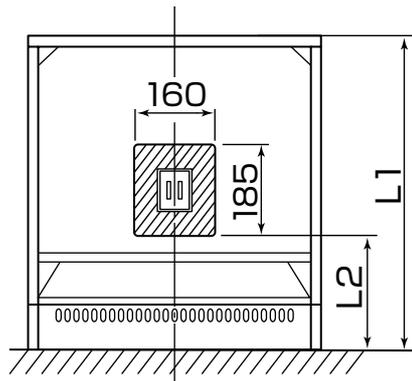
1. 電源工事

電源は交流100Vですが、消費電力が約1,300W（オープン使用時）ですので、15A以上の専用コンセントをキャビネット収納部に設けてください。

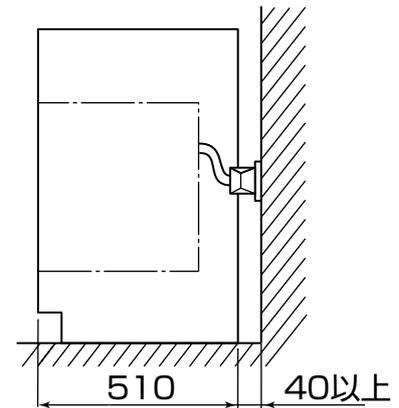
取付位置

コンセント取付位置は、下図のようにキャビネット後部に設けてください。キャビネット後部の角穴位置はキャビネットの高さによって下表のようになります。（単位:mm）

キャビネット高さL1	角穴下辺の高さL2
580	193
594	207
605	218
615	228
625	238
635	248
644	257



キャビネット側面図



2. 接地工事

万一の事故防止のため、必ず接地工事（アース接地）を行ってください。

次のような場所に据付ける場合は、法令でD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）をすることが義務づけられています。必ず電気工事店に依頼してアース工事をしてください。

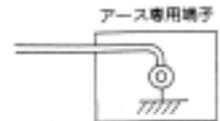
アース線の接地工事には電気工事士の有資格者が工事するよう法令で定められています。

お買い上げの販売店か、お近くの電気工事店にご相談ください。

- ① 湿気の多い場所
 - 水蒸気が充満する場所
 - 土間、コンクリート床
 - 酒、しょうゆなどを醸造し、または貯蔵する場所
- ② 水気のある場所
 - この場合、漏電しゃ断器の取り付けも義務づけられています。
 - 水を取り扱う土間、洗い場など水気がある場所
 - 地下室など常に水滴が漏出したり結露する場所

2.1 接地工事（アース接地）のされているコンセントより電源を取る場合

アース端子付コンセントの場合、本体後面のアースリード線の先端の皮をむき、アース端子付コンセントのアース端子に確実に固定してください。
電話機用のアースとは共用できません。



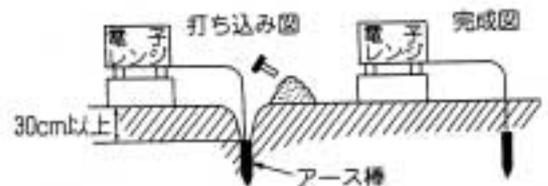
2.2 接地工事（アース接地）のされていないコンセントより電源を取る場合

別売りのアース棒（サービスパーツNo.MR-M200、026）を使用し、次の要領でアースを取り付けてください。

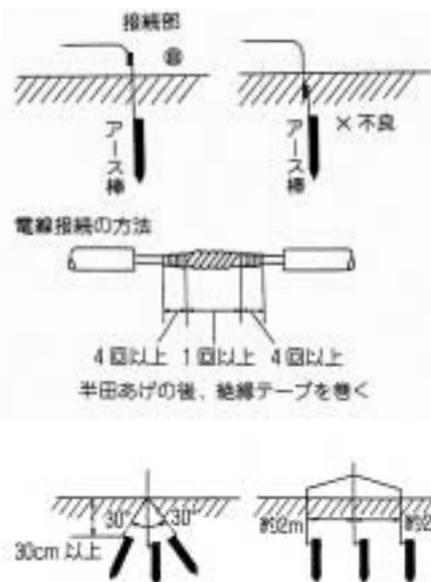
- ① アース棒は日陰など湿気の多い場所に埋めてください。

次のような場所はさけてください。

- Ⓐ ガス、水道管、引込線の近く
- Ⓑ 避雷針用および電話機用のアースから2m以内の場所
- Ⓒ 人通りのはげしい場所



- ② 場所がきまりましたら次のように打ち込んでください。
 専用工具がない場合は穴を掘って地中深く打ち込み、土をかぶせてください。アース棒の末端が地面から30cm以上埋まるのが理想的です。
- ③ 付属のアース線でたりない場合は次のように接続を行ってください。
 アース線の接続は太さ1.6mmφ(断面積1.25mm²)以上の電線を使用し、接続箇所を半田付けして確実に固定し、絶縁テープを巻いてください。半田付けの部分は地中に埋設しないでください。
- ④ 接地抵抗が高い場合は2本、3本と傘形または並列に打ち込んでください。一例として3本の場合を図示します。

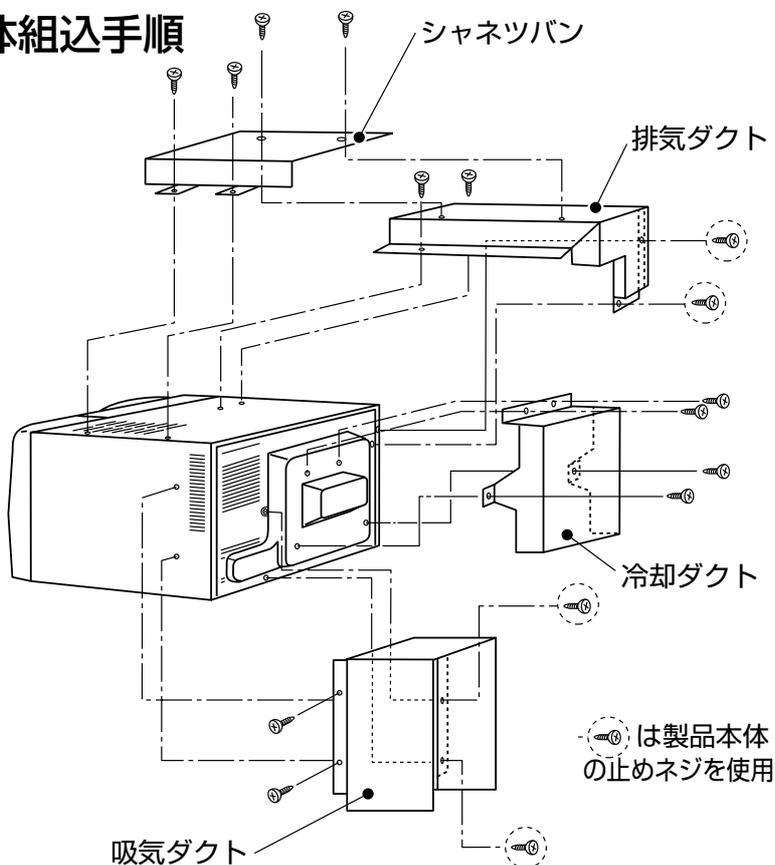


また、接地抵抗を下げるためには、市販の接地抵抗低減剤を用いると効果があります。塩酸などを注入すると、接地抵抗は低減しますが、経時腐食の問題がありますので、塩酸などの使用はさけてください。

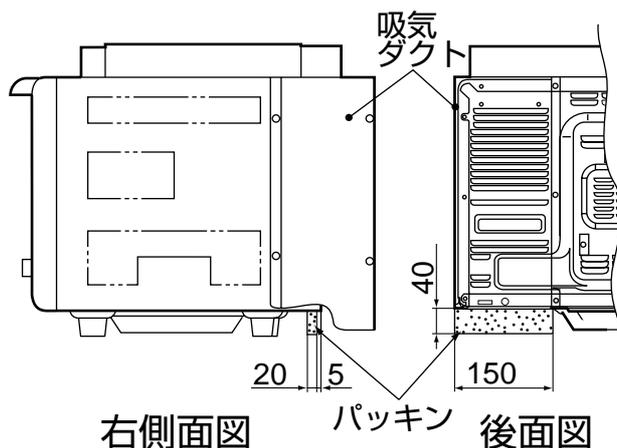
3. キャビネット収納部への本体組込手順

製品を取扱いの際には、本体周囲のダクト等を持たずに製品本体をお持ちください。(変形防止のため)

- ① キャビネットの止めネジを一部兼用し、さらに付属のタッピンネジを用いて本体後部に吸気ダクト、冷却ダクト、上部に排気ダクト、シャネツバンをそれぞれ取り付けます。
- ② 収納するキャビネットの背中側の壁面等に所定のコンセントが設けられていることを確認してください。



- ③ 本体に同梱してあるパッキンを右図の製品本体後下方部の底板の下に貼り付けます。
 (温風の循環を防止し、製品内部の部品を保護するため)



- ④ キャビネットの高さを合わせます。キャビネットの高さは、左右側面および後面のネジの取り付け位置により580mm、594mm、605mm、615mm、625mm、635、644mm、の7通りに調節できます。(出荷時は625mm) 高さを調整した後、ネジは確実に締めてください。また、キャビネットの高さ変更によってCカバークミの高さの調節が必要です。Cカバークミの高さが下図の寸法となるように裏面の取付ネジ(3本)の位置を調整します。

(単位: mm)

キャビネットの高さL1	取付ネジの高さL2	Cカバークミの高さL3	Cカバークミのネジ位置	キッチンの高さ *1
580	23	135	A	800
594	37	149	B	819
605	48	160	C	830
615	58	170	D	840
625	68	180	E	850
635	78	190	F	860
644	87	199	G	869

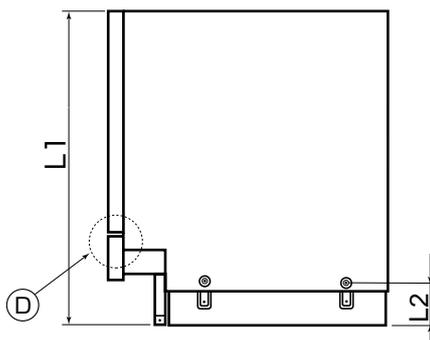
*1 キッチンが870mm以上の時、および据付寸法に応じて下記部材を用意しております。

別売台輪

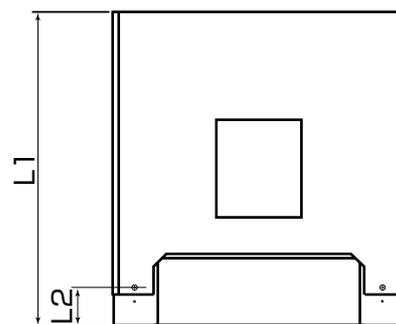
形式	寸法(高さ)
MR-SK-K2	50mm
MR-SK-K3	30mm

別売下ルーバー

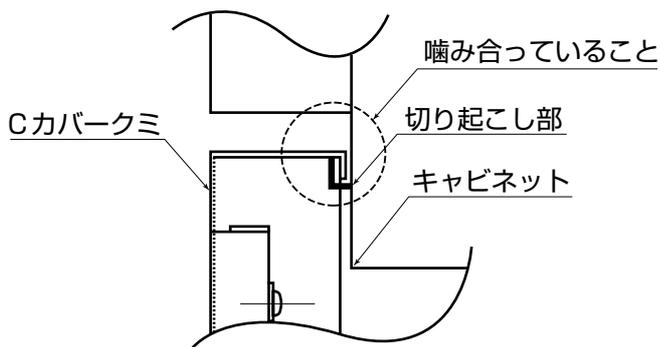
形式	寸法(高さ)
MRZ-S1	19mm
MRZ-S2	29mm



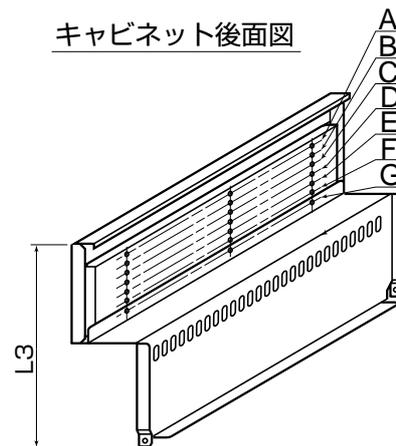
キャビネット右側面図



キャビネット後面図



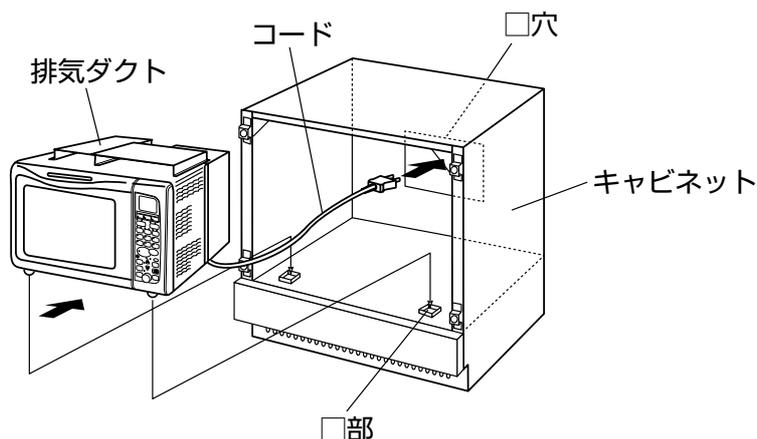
④部拡大図



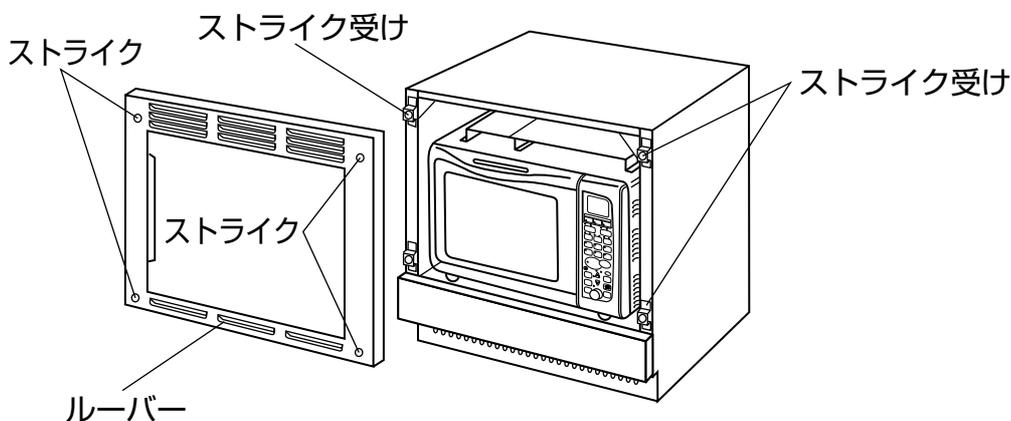
Cカバークミ

Cカバークミを閉じたとき、Cカバークミがキャビネット本体の切り起こし部(図示)に確実に掛かることを確認します(D部)。掛からない場合は、キャビネットの高さ調節ネジ(左右側面各2本、後面2本の合計6本)をゆるめ、L2を大きめに調整しCカバークミが掛かるように締め付けます。

- ⑤ コードをキャビネット後部口穴より出すように、キャビネットの内部に本体を静かに入れます。本体の前脚2ヶ所を□部に入れセットします。(このときコードが本体後面や排気ダクトにふれないようにしてください。)



- ⑥ ルーバーの向きが手前下向きとなるようにし、ルーバーのストライクをルーバー取付金具のストライク受けに差し込みセットして完了です。



4. 設置完了後の確認

取扱説明書に従い、オーブンレンジが正常に動作することを確認します。

確認項目	取扱説明書記載ページ		チェック
	MRO-A92SK/A96SK	MRO-A97SK	
調理用付属品がそろっているか	15	6	
ダイヤルを回したとき、表示窓にオート調理の1～16の内容が表示されるか	12	—	
オートメニューキーを押し替えたとき各メニューに切り替わるか	—	7	
手動設定キーまたは手動調理キーを押し替えたときレンジ、グリル、オープンに切り替わるか	13	6	
コップに水を入れレンジ強で1分加熱したとき水があたたまるか	34	22	
回転台を入れ、オープン250℃で1分加熱したとき、加熱室全体が熱くなるか	37	25	

以上の項目の確認が終わった後、お客様に正しい使いかたをご説明ください。

株式会社 日立ホームテック 株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋 2-15-12 電話03(3502)2111